

報 告 1

草津市地域公共交通網形成計画における各施策の取組状況について

草津市地域公共交通網形成計画における各施策の取組状況について、別紙のとおり報告します。

草津市地域公共交通網形成計画における各施策の取組状況について

資料6

多様な交通手段の連携や、まちなかでの交通環境整備を進めながら、公共交通の利便性の向上を目指します					評価	今後の対応	
①公共交通の利便性に満足している市民の割合	現況(2017年) 41.6%	➡	現在(2022年) 47.2%	➡	目標(2028年) 47.0%以上	達成	引き続き、バス事業者等と連携し、バス路線の再編やダイヤ改正等、公共交通の利便性の向上を図る。
誰もが愛着のある草津市に末永く暮らしていくために、公共交通サービス水準の維持向上を目指します					評価	今後の対応	
②公共交通の運行路線数	現況(2017年) 48路線	➡	現在(2022年) 48路線	➡	目標(2028年) 48路線以上	達成	引き続き、バス事業者等と連携し、公共交通路線の維持を図る。
健康で人や環境にもやさしい生活形成を推進していくため、自家用車に過度に頼らない意識の向上を目指します					評価	今後の対応	
③運転免許証保有率	現況(2017年) 66.6%	➡	現在(2022年) 66.6%	➡	目標(2028年) 66.6%以下	達成	引き続き、滋賀県警察等と連携し、運転免許証自主返納の促進に取り組む。

基本施策1 多様な交通手段を織りなし、移動を円滑につなぐ公共交通

個別施策	事業展開スケジュール										実施主体	R3 取組実績	R4 取組予定
	(前期)				(中期)			(後期)					
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
施策1 持続可能な公共交通網の形成													
(1)路線バスやコミュニティバス路線の再構築 ・複数事業者間で重複する路線の再編 ・地域の需要に対応したコミュニティバスの再編											・市 ・バス事業者 ・タクシー事業者	・地域からの要望や動態調査の結果に基づき、まめバス「商店街循環線」の一部の便について、運行経路を変更することを検討した。[市] ・令和3年11月1日から、まめバス「草津駅下笠線」の実証運行を開始した。[市] ・沿線企業・大学・沿線のニーズに即したダイヤ編成を構築した。[バス事業者] ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら運行を維持する市内の交通事業者に対して、補助金を交付した。[県・市] ・行政に対して継続的な路線維持のため支援を求めた。[バス事業者] ・「滋賀県地方バス対策地域連絡協議会」に設置している「バスの課題検討ワーキング」を開催し、バス交通の維持確保の方向性および県補助制度の見直しに係る検討を実施した。[県] ・基幹路線であるバス路線「近江大橋線」を維持するための方策について、関係機関等と検討した。[市] ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金、車両減価償却費国庫補助金)について、令和3年事業年度(R2.10.1～R3.9.30)の補助を実施した。[国]	・令和4年10月1日から、まめバス「商店街循環線」の一部の便について、運行経路を変更する。[市] ・まめバス「草津駅下笠線」の利用状況等を踏まえ、令和4年11月1日からの本格運行移行について判断する。[市] ・利用状況を鑑み路線バス・コミュニティバスの再編の検討する。[バス事業者]
(2)バスの路線確保に向けた支援の検討 ・基幹路線などのバス路線への一部補助の検討 ・公共交通機関の利用促進を図る支援の検討												・「草津市地域公共交通網形成計画」の基本施策に基づき、公共交通機関の利用促進を図る支援を引き続き検討する。[市] ・引き続き、行政に対して継続的な路線維持のための支援を求める。[バス事業者] ・「滋賀県地方バス対策地域連絡協議会」に設置している「バスの課題検討ワーキング」を開催し、引き続きバス路線の維持確保に向けた支援のあり方を検討する。[県] ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金、車両減価償却費国庫補助金)として、R4年事業年度(R3.10.1～R4.9.30)の生活交通確保維持改善計画を認定する。[国]	
(3)ICTの活用や自動運転技術の導入検討 ・スマートフォンのGPS機能を活用した効率的なタクシー配車アプリの活用 ・バス等の自動運転技術の活用検討												・MaaSアプリWESTERや交通系ICカードICOCAの普及促進を実施した。[鉄道事業者] ・野洲車両基地において、自動運転による隊列走行バスの実験を開始した。[鉄道事業者]	・「MaaS」等の事例研究を行い、ICT活用等を検討する。[市] ・MaaSアプリWESTERや交通系ICカードICOCAの普及促進を継続する。(草津川/ハイラインイベント等)[鉄道事業者]。 ・野洲車両基地において、自動運転による隊列走行バスの実験を継続する。[鉄道事業者] ・「MaaS」等の事例研究を行い、ICT活用等を検討する。[鉄道事業者]
施策2 連続性のある道路環境整備													
(1)公共交通による駅へのアクセス強化 ・主要交差点周辺の道路改良 ・信号機の運用見直しの検討											・市 ・県 ・国 ・交通管理者		・東口ロータリー周辺道路の交通流の円滑化対策として、信号周期の変更を行う。[交通管理者] ・信号周期の変更対策による効果がなく、交通規制の実施を検討する場合、駅利用車両の迂回先の整備、交通規制の実効性確保のための対策について関係機関と協議する。[交通管理者]
(2)駅前ロータリーの機能性の向上 ・駅前ロータリーの機能の見直し ・自家用車の駅前ロータリーへの進入規制、誘導の検討												・バス経路を分散する社会実験を実施した。[市] ・社会実験結果を踏まえて、東西ロータリーの機能分担やバス待ち環境改善等の短期対策等について検討した。[市]	・社会実験結果を踏まえて、東口の交通規制やバス待ち環境改善等の短期対策等を進めるため、地域や関係機関等と調整する。[市] ・ロータリー改修工事基本設計を行い、東口ロータリーにおいて交通規制を実施するための整備方法等を検討する。[市]
(3)鉄道駅周辺のバリアフリー化の推進 ・重点整備地区内での段差の解消、誘導用ブロックの設置等												「草津市バリアフリー基本構想」の重点整備地区内での事業の進捗管理を行った。[市] ・重点整備地区内のバリアフリー化整備のための設計業務を実施した。(延長500m)[市]	「草津市バリアフリー基本構想」の重点整備地区内での事業の進捗管理を行い、引き続き当該基本構想の推進を図る。[市] ・JR草津駅を中心とする重点整備地区内でのバリアフリー化を促進し、市内の公共公益的施設等へ安全に安心して移動できる環境を整備する。[市]
(4)自転車走行空間の整備 ・既存道路空間を活かした自転車走行空間の整備												自転車の安全で安心な利用環境を創出するため、自転車ネットワーク計画の進捗管理を行った。[市]	自転車の安全で安心な利用環境を創出するため、自転車ネットワーク計画の進捗管理を行い、必要に応じて関係部署と協議、検討する。[市]

施策3 鉄道駅における乗り継ぎ利便性の強化						
(1)鉄道とバスとの乗り継ぎ強化 ・鉄道との乗り継ぎを考慮した路線バスダイヤの調整	検討・準備	実施	継続	・市 ・鉄道事業者 ・バス事業者 ・タクシー事業者	・鉄道のダイヤ改正に合わせ、利用者に分かりやすいダイヤ設定（ヘッドダイヤ・駅着5分後発車）などのダイヤ改正を実施した。[バス事業者]	・鉄道のダイヤ改正に合わせ、利用者に分かりやすいダイヤ設定（ヘッドダイヤ・駅着5分後発車）などのダイヤ改正を引き続き検討する。[バス事業者]
(2)公共交通総合案内情報の整備 ・鉄道駅のデジタルサイネージ等を活用した公共交通総合案内情報の整備 ・公共交通ガイドブックの発行 ・草津市観光案内所における公共交通情報案内	検討・準備	実施	継続		・JR草津駅改札前のデジタルサイネージにおいて、バス乗場や時刻表の情報を発信した。[市] ・草津市観光案内所（JR草津駅改札前）にて観光ボランティアガイドが常駐し、来訪者へ交通情報および観光情報を提供した。[市]	・JR草津駅改札前のデジタルサイネージにおいて、バス乗場や時刻表の情報を引き続き発信する。[市] ・草津市観光案内所（JR草津駅改札前）にて観光ボランティアガイドが常駐し、来訪者へ交通情報および観光情報を提供する。[市]
(3)交通系ICカードの導入検討 ・ICOCA等の交通系ICカードの導入検討	検討・準備		実施			
施策4 鉄道駅周辺での自転車利用環境の整備						
(1)鉄道駅周辺での自転車駐車スペースの環境整備 ・需要に対応した駅周辺駐輪場の整備	検討・準備・実施			・市 ・鉄道事業者	・草津駅西口周辺の駐輪場利用に係る需要調査を含めた草津駅西口自転車駐車場建替工事基本設計や草津駅西口仮設自転車駐車場実施設計を行った。[市]	・草津駅西口自転車駐車場建替工事基本設計に基づき、草津駅西口自転車駐車場建替工事実施設計を行う。また、一時的に草津駅西口仮設自転車駐車場を整備し、自転車駐車スペースを確保する。[市]
(2)シェアサイクル・レンタサイクル事業の展開 ・シェアサイクル、レンタサイクル事業の展開	検討・準備	実施	継続		・「駅リンクン」等や他市の事例研究を行い、シェアサイクルやレンタサイクル事業について検討した。[市] ・草津駅の駅リンクンにおいて、県の補助金も活用して、e-bikeを配備し、サービスの拡充を図った。[鉄道事業者]	・市内の大規模事業所や立命館大学にシェアサイクル・レンタサイクルの需要調査を実施する。また、草津駅西口自転車駐車場の建替時にシェアサイクルのサイクルポート設置の導入を検討する。[市] ・シガリズムペダルなどレンタサイクルサービスとICOCAポイントバックとを連携した観光キャンペーンを展開する。[鉄道事業者]
(3)放置自転車の削減対策 ・放置自転車の撤去 ・啓発周知看板の設置	実施・継続				・JR草津駅およびJR南草津駅周辺における自転車等放置禁止区域において、放置自転車等の撤去を実施した。[市]	・JR草津駅およびJR南草津駅周辺における自転車等放置禁止区域において、引き続き放置自転車等の撤去を実施する。[市]

基本施策2 まちに愛着と誇りを抱き、地域の維持・活性化につなぐ公共交通

個別施策	事業展開スケジュール										実施主体	R3 取組実績	R4 取組予定
	（前期）			（中期）			（後期）						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
施策1 まちづくりと連携した交通ネットワークの確立													
(1)サイクル&バスライドの環境整備の推進 ・バス停留所近辺への自転車駐車場の整備 ・サイクル&バスライドの利用促進											・市 ・バス事業者 ・タクシー事業者 ・市民	・サイクル&バスライドの整備手法等について検討した。[市]	・サイクル&バスライドの整備手法等について引き続き検討する。 [市]
(2)バス交通空白地等の新たな移動手段の導入検討 ・地域と連携した新たな移動手段の検討												・志津学区等で実証運行を行っている「まめタク」について、令和3年11月30日から運行便数の増加やダイヤの見直しを行い、実証運行期間を1年間延長した。[市] ・令和3年11月1日から、まめバス「草津駅下笠線」の実証運行を開始した。[市] ・地域からの要望や動態調査の結果に基づき、まめバス「商店街循環線」の一部の便について、運行経路を変更することを検討した。 [市]	・志津学区等で実証運行を行っている「まめタク」について、利用状況等に基づき、運行便数の見直し等を行い、令和4年11月30日からの本格運行移行を目指す。[市] ・まめバス「草津駅下笠線」の利用状況等を踏まえ、令和4年11月1日からの本格運行移行を目指す。[市] ・令和4年10月1日から、まめバス「商店街循環線」の一部の便について、運行経路を変更する。[市]
施策2 福祉分野等と連携した移動手段の充実													
(1)生活支援サービスの充実 ・福祉有償運送事業の展開 ・移動支援事業の充実、福祉タクシー運賃等助成事業の実施											・タクシー事業者 ・市民 ・事業所	・市内3事業者が福祉有償運送事業を実施した。[市] ・障害がある方の積極的な社会参加を促進するため、移動支援事業、福祉タクシー運賃等助成事業を実施した。[市]	・市内3事業者において、福祉有償運送事業を継続する。[市] ・移動支援事業、福祉タクシー運賃等助成事業を引き続き実施する。 [市]
(2)地域の主体的な助け合いの環境づくりの推進 ・地域支え合い運送の取組み支援												・市社会福祉協議会を通して、日常生活に支援が必要な人を対象とした、地域支え合い運送の取組み支援を実施した。[市] 学区の社会福祉協議会やまちづくり協議会が主体となり、志津南、山田、老上、老上西、南笠東学区で継続実施した。[市]	・引き続き、事業の継続と拡大に向けた支援を行う。[市]
施策3 広域的なバス路線の充実													
(1)隣接市と連携したバス路線網の強化 ・基幹軸となる路線バスの維持、確保 ・草津栗東守山くるとバスの運行の充実											・市 ・バス事業者 ・県	・「草津市地域公共交通網形成計画」の基本施策に基づき、くるとバスの運行を維持した。[市] ・行政と連携し、草津栗東守山くるとバスの運行を維持した。[バス事業者]	・「草津市地域公共交通網形成計画」の基本施策に基づき、くるとバスの運行を継続する。[市] ・利用状況・ニーズに応じてダイヤ編成を検討する。[バス事業者]
(2)大津湖南エリアの公共交通の充実 ・施設間の循環等を含むバス路線の再編検討 ・輸送力の高い連節バスの活用検討												・南草津飛鳥線を延伸し滋賀医科大学病院へのアクセスを可能にした。[バス事業者] 大津湖南エリア地域公共交通活性化協議会を開催し、公共交通の充実につながる議論を行った。[県]	・湖南エリアでの連節バスの運用・活用方法を協議継続[バス事業者] ・引き続き、活性化協議会を開催し、公共交通の充実につなげる。 [県]

基本施策3 自家用車に過度に頼らない意識を育み、健幸で明るい未来につなぐ公共交通

個別施策	事業展開スケジュール										実施主体	R3 取組実績	R4 取組予定
	(前期)				(中期)				(後期)				
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
施策1 モビリティ・マネジメントの推進													
(1)地域や事業所等でのモビリティ・マネジメントの推進 ・地域でのワークショップ等の開催 ・事業所モビリティマネジメントの促進 ・大学と連携した公共交通等の利用促進											・市 ・鉄道事業者 ・バス事業者 ・タクシー事業者 ・市民 ・事業所	・志津学区でワークショップを実施し、志津学区等で実証運行を行っている「まめタク」等の公共交通の利用促進を図った。[市] ・UDCBKと草津駅が連携し、市民向けセミナーを開催した。[鉄道事業者]	・「草津市地域公共交通網形成計画」の基本施策に基づき、引き続き公共交通の利用促進を図る。[市] ・事業所に対して、モビリティマネジメントの促進を行う。[市]
(2)小学校等における交通環境学習の推進 ・小学校等におけるバスや電車の乗り方教室等の開催 ・課外授業等における路線バス等や鉄道の利用促進 ・交通安全教室やバリアフリー教室との連携												・小学校(3校)において、バスや電車の乗り方教室を開催した。[市] ・市と協働して、小学校でバス等の乗り方教室を開催した。(7校)[県] ・草津市内の小学校3校でバスの乗り方教室を開催した。[バス事業者] ・草津列車区が笠縫小学校にて出前講座等を開催した。[鉄道事業者]	・小学校において、バスや電車の乗り方教室を引き続き開催する。[市] ・引き続き、市と協働して乗り方教室を開催する。[県] ・バス協会と連携し年間通じて県内各地でバスの乗り方教室を開催する。[バス事業者]
(3)公共交通に関する情報提供の充実 ・市の広報誌やホームページの活用 ・公共交通ガイドブックの作成 ・イベント等での公共交通情報の提供												・令和3年11月30日から、まめタクの運行便数の増加やダイヤの見直しを行ったため、まめタクマップの見直した。[市] ・令和3年11月1日から、まめバス「草津駅下笠線」の実証運行を開始したため、まめバスマップの見直した。[市]	・「まめタク」について、令和4年11月30日からの本格運行移行時に、まめタクマップを見直す。[市] ・まめバス「草津駅下笠線」の本格運行移行や「商店街循環線」の一部の便について運行経路を変更する際に、まめバスマップを見直す。[市]
(4)特徴を活かした連節バスの有効活用 ・イベント開催時等での臨時運行 ・大津湖南エリアでの活用検討												・立命館大学シャトル及び南草津駅～パナソニック～立命館大学線を連節バスで運行した。[バス事業者]	・沿線大学・企業に即したダイヤ編成を再検討する。[バス事業者] ・バスイベント等で展示を行い幅広く利用者への周知を図る。[バス事業者]
施策2 いつでも誰でもが利用しやすい公共交通環境の整備													
(1)公共交通のバリアフリー化の推進 ・低床式車両(低床バス、ユニバーサルデザインタクシー)の充実 ・乗務員のバリアフリー研修の推進 ・交通案内情報の多言語化											・市 ・鉄道事業者 ・バス事業者 ・タクシー事業者	・運行する車両の劣化状況等を確認しつつ、車両の更新等を実施した。[市]	・運行する車両の劣化状況等を確認しつつ、車両の更新等に当たっては、低床式車両の導入を検討する。[市]
(2)バス待ち環境の整備検討 ・上屋やベンチの設置等の検討												・「南草津駅周辺交通対策検討会」において、バス待ち環境の改善について検討した。[市]	・南草津駅前広場におけるバスシェルターの設置箇所等について検討する。[市]
(3)バスロケーションシステムや配車アプリの導入検討【一部再掲】 ・バスロケーションシステムの導入促進 ・スマートフォンのGPS機能を活用した効率的なタクシー配車アプリの活用													
(4)交通系ICカードの導入検討													
(5)来訪者等の公共交通利用の促進 ・観光パンフレット等への公共交通情報の掲載 ・1日フリーパス等の企画乗車切符の販売検討												・観光パンフレット(市観光物産協会発行)へ主要都市からの鉄道および高速道路でのアクセスやレンタカー等の情報を掲載した。[市] ・観光施設と連携し復路バス無料等の利用促進施策を実施した。[バス事業者] ・草津駅を発着するすべての路線バスで使用できるスマホアプリを活用した1日フリーパス(土日祝限定)の販売を開始した。[バス事業者] ・観光パンフレット等に公共交通情報を掲載した。[鉄道事業者] ・レイクスターズと連携し、YMITアリーナでの試合に合わせ、ICOCA利用を促進するスタンプラリーを開催した。[鉄道事業者]	・観光パンフレット(市観光物産協会発行)へ主要都市からの鉄道および高速道路でのアクセスやレンタカー、レンタサイクル等の情報を掲載する。[市] ・引き続き、観光施設と連携したバス利用促進施策の実施する。[バス事業者] ・1日乗車券等の企画乗車券の販売を検討する。[バス事業者] ・観光パンフレット等に公共交通情報を掲載する。[鉄道事業者]

施策3 高齢者が運転免許証を返納しやすい環境づくり				
(1)交通安全教室の充実 - 交通安全教室等の開催 - 交通安全シニアカレッジの開催 - 交通安全に関する情報提供			・交通安全指導員「わかばチーム」により、幼児や児童または高齢者を対象とした交通安全教室を開催した。[市] ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、交通安全高齢者師範学校を開催した。[市] ・交通安全教育の対象者ごとに事故発生の傾向に即した注意事項などの重点的に指導を行った。[交通管理者]	・交通安全指導員「わかばチーム」による交通安全教室を引き続き開催する。[市] ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、交通安全シニアカレッジを開催する。[市] ・引き続き、交通安全教育の対象者ごとに事故発生の傾向に即した注意事項などの重点的に指導を行う。[交通管理者]
(2)高齢運転者の事故防止の促進 - 免許更新時の認知機能検査の実施 - 高齢運転者の事故防止に向けた情報提供			高齢者や小学生には、身近な道路の横断時に安全確認の徹底、中高生には自転車の安全運転、ヘルメット着用、未就学児の保護者等には一人歩きや遊戯時の道路への飛び出し等に注意するよう促した。[交通管理者]	
(3)運転免許証自主返納高齢者支援制度の充実 - 高齢者運転免許証自主返納者支援サービスへの協賛店の協力依頼 - 運転免許証自主返納高齢者への支援サービスの充実 - 自主返納意識の向上に向けた広報啓発の強化			・滋賀県警と連携し免許返納者に対し100円割引を実施した。[バス事業者] 自主返納者支援サービスの充実を図り、協賛店の協力依頼を行った。[交通管理者]	・引き続き、滋賀県警と連携し免許返納者に対し100円割引を実施する。[バス事業者] 引き続き、自主返納者支援サービスの充実を図り、協賛店の協力依頼を行う。[交通管理者]